



今日から新学期がスタート

春爛漫、玄関前の花壇にはきれいな花が咲き誇り、子どもたちの新学期を祝福しています。お子様のご進級、おめでとうございます。今日から、新学期が始まりました。これまで年少さんだったお友だちは年中さんに、年中さんだったお友だちは年長さんになります。今日の始園式では、緊張した中にも、一つ上のお兄さん、お姉さんになった嬉しさが感じられました。また、新しいお友だちや先生との出会いにも胸をときめかせていることでしょう。

新学期は自分の目標を立てる良い機会です。この1年間で頑張りたいこと、チャレンジしてみたいことなどをお子様とお話していただき、有意義な1年になりますよう励ましていただければと思います。



筑女幼稚園のめざす子ども像

筑女幼稚園では、教育目標として「自然を愛し、生き生きと活動する子どもの育成」を掲げ、次の3つの子ども像をあげています。

「考える子」…様々なことに興味や関心を持ち、疑問を持ってよく考える子

「優しい子」…誰にでも優しくし、自分も他の人も大切にする子

「元気な子」…基本的な生活習慣を身につけ、心も体もしなやかでたくましい子

今日の始園式でもこの3つの子ども像について、「もっとうまくできるように考えてみましょう」「友だちと仲良くし、やさしくしましょう」「友だちと元気いっぱいに遊びましょう」というお話をしました。子どもたちがこの子ども像を意識できるよういろいろな場面で紹介したいと考えています。



懐かしい再会 6年生の同窓会

本園では、卒園児が小学校を卒業する時期に6年生の同窓会を開いています。今回は先月の3月24日に実施しました。当日は、40人以上の6年生と保護者に出席していただきました。この同窓会での第一印象は、この6年間で子どもたちの体が大きく成長しているということです。中には、保護者や教員の身長と変わらない6年生もいました。この会では、一人一人が自己紹介をする場面もあり、進学する中学校やみんなへのメッセージなど、それぞれの近況が報告されました。後半は、園内探検やドッジボールなどで楽しい時間を過ごしました。6年生のみんなから異口同音に聞かれたのが「懐かしいね」という言葉です。筑女幼稚園での思い出が、子どもたちの心の中でつながっていることを嬉しく思いました。



職員が救命講習を受講

春休みに職員が救命講習を受講しました。この講習では、福岡市消防局の方に来ていただき、心肺蘇生や異物の除去などの研修を行いました。心肺蘇生では、胸骨圧迫のやり方や手順、気道の確保など模型の人形を使いながら実演を交えての講習でした。心肺蘇生の際にはAEDの活用も重要になります。AEDの使い方についても周囲の人と連携しながら、操作の手順を確認しました。のどに異物を詰まらせた場合の対処法としては、背中を叩いたり、腹部を突き上げたりする方法を紹介していただきました。その他にも止血法についての講習もありました。こうした研修を繰り返すことが、いざという時の備えになることを再認識しました。

